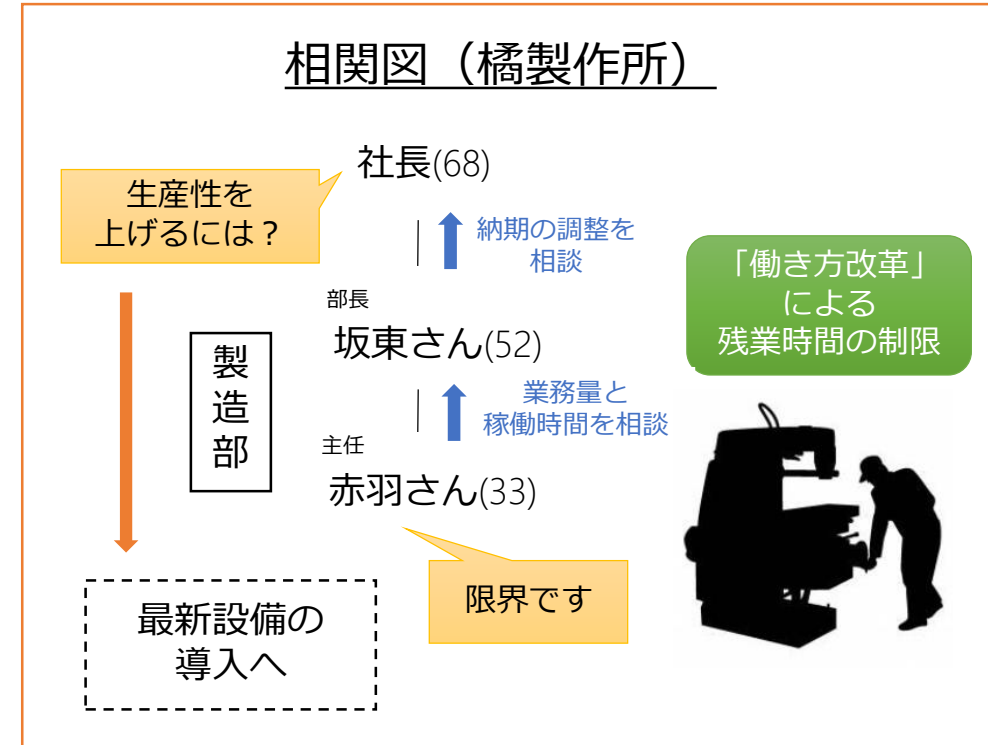




あらすじ 特注部品の加工技術を強みとして成長を続けてきた橋製作所。製造部の主任を務める赤羽さんはメンバーとともに限られた人員で業務に対応してきました。ところが、「働き方改革」により時間外労働が制限される中、上り調子の業績で業務は増える一方。これまでの残業ありきの「**減らない業務量**」と「**稼働時間の制限**」の間で、現場に不満の声が募ります。状況を理解した社長からは製造部へ「生産性を上げるにはどうしたら良いか」という課題が出され、方策を検討する坂東部長と赤羽さんですが――



ポイント 働き方改革が提唱され労働時間が制限される一方で、深刻な人手不足にも悩まされる現実。**限られた条件の中で最大限の成果を発揮するには、生産性の向上は避けて通れません。**では、そのためにどのような取り組みができるのでしょうか。個人やチームなどのさまざまな視点から、いま現場でできる改善策を考えてみましょう。